

はばだけ! 広島サンダーズ

久原 大輝

6日、猫田記念体育館に世界ランキング6位の米国代表を迎え、フレンドリーマッチが行われた。13日にフィリピンで開幕する世界選手権を前に、米国代表は広島で



試合後の記念撮影（6日）

「世界」体感 成長の糧に

事前合宿を実施。ハビエル・ウエベル監督が米国代表のアシスタントコーチを務めており、実現した。12日には新井雄大選手が米国代表の練習に参加し、果敢なスパイクや守備で存在感を示すシーンもあった。

当日は満員の観客が詰めかけ、公式戦さながらの雰囲気です。4セット戦った。各セットの15点前後まで互角の攻防を繰り広げ、サンダーズは昨季から強化してきたディフェンスが機能。臆することなく世界の強豪に挑む姿勢を示した。しかし、米国代表は一瞬の隙を見逃さず、鋭いサーブとシンクロ攻撃で徐々に主導権を奪い、最後はその組織力を見せつける形でサンダーズはセットを落とした。

セットカウントは0-4だったが、世界最高峰のバレーを肌で感じた経験は大きい。選手たちは「百聞は一見に如かず」とばかりに、世界基準のスピードや運動性を体感した。この悔しさを糧にさらなる成長へ。今回の一戦は確かな刺激となったに違いない。

（広島Tマネジャー）